太陽の下に新しい物はなし…無知が罪である理由

「There is nothing new under the sun」。太陽の下に新しい物はなし。

旧約聖書に記され、その聞こえの通り、この世に新しい物はなくて、全ては古い物や考えの生まれ変わりであると言う意味です。

どんなにクリエイティブでオリジナルな物や考え、アイディアでさえも所詮は過去の何かを元に作り上げた物事。言い換えるならば、ピカソが言ったとされる「優れた芸術家は他人のアイディアをマネをし、偉大な芸術家は盗む」。

今やGoogleを筆頭に、インターネットのおかげで、どんな悩みや、知らない事に対する答えを、すぐに手に入れる事が出来るようになりました。

なのにも関わらず、答えを探そうとしない、探すのを面倒と感じて探さない人が意外と多いのではないでしょうか？

あなたが抱える悩みや問題、これから直面するであろう様々な壁は既に何億人と言う人が乗り越えた壁と言う事はよくあるわけです。そんな成功事例を元に、あなた自身の問題に先人の知恵を使うのは、あなた自身で何かを作る上げる事よりも、利口な作戦だと思いませんか？

もちろん、成功事例をしっかりと分析し、成功した理由を理解する事は大事になりますが、別にあなた自身が何かを作り上げる必要はないのです。

そうだからこそ、答えを探す能力であるググり力は大事であり、より多くの情報を手に入れるために英語が出来る事が大事であり、他人の考え方やどのようにして逆境を乗り越えたのか？と言う事をほんの数時間で体験できる本を読むのが大事であったりするわけです。

無知は罪です。何故なら、ページをめくってめくって探せば、答えはほぼ必ずあるからです。